

あおもり

県民
だより

2015
12 月号
No.154

元気! 安心♡ 青森県

CONTENTS 目次 平成27年12月1日発行(偶数月1日発行)

特集:元気で安心して暮らせるまちへ	1~5
申吾のほっとコラム	6
人口減少克服 未来を変える挑戦	
青森県職員の給与と職員数のあらし	7
良医を育む地域・青森へ	
自然公園内での建物の新築などには許可・届出が必要です	
おいしく健康「だし活」ごはん! / あおもりインフォメーション	8

仲間と集い、いくつになっても活躍できる場所がある幸せ!

八戸市南郷にある「山の楽校」は、旧南郷村立増田小学校の校舎を再利用し、2005年にオープンした交流体験施設。私は以前、同校に校長として勤務していた縁もあり、楽校長、また南郷の住民の一人として、地域の皆さんと協力しながら運営を行っています。

この楽校には、そば打ち、てんぼせんべい作り、炭焼き、イタヤカエデを使ったかご作りなど、地域の食文化や手仕事を体験する多彩なプログラムがあり、その講師のほとんどが地元の高齢者の皆さん。田舎暮らしの文化を求めて訪れる首都圏や外国人観光客を前に、最初のうち、「オラ、英語どころか、標準語も話せねえし!」と、尻ごみしていたお年寄りが、今では地元の方で生き生きと地域の文化を伝えられるようになりました。また、地の小学生も頻繁に体験に訪れるので、子どもたちからたくさん元気をもたらしているようです。いくつになっても誰かに必要とされ、自

分が培ってきた技術によって誰かを笑顔にできる!それが自信になり、目標と生きがいにつながっているのではないのでしょうか。今の時代だからこそ、高齢者が培ってきた「知恵の継承」を地域のみんで繋いでいくことが大切。これからも、田舎ならではの財産を生かし、さまざまな世代が交流できる場所を創っていききたいと思っています。

八戸市青葉湖展望交流施設 山の楽校 楽校長
岩崎 光宏



青森県基本計画
未来を変える挑戦
～強みをもとに、課題をチャンスに～

表紙: 岩崎光宏さん(中央)と山の楽校スタッフと家族の皆さん